

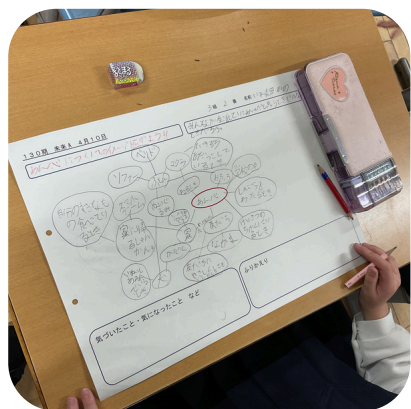
平野あんしんタウン A領域

第0サイクル

わたしたちのまわりに
「危険」や「安全」ってあるのだろうか？

活動①

身の回りの危険と安全



横断歩道に立ってくれている
見守りの大人がいる場所は、
すごく安全だと思う



みんなが安全に
過ごせるように、
学校のどこが危ないか
調べられないかな？

活動②

学校の危険安全マップ作成

もし地震がきたら
ドーンって落ちてきそう



職員室は先生が
たくさんいるから、安全な場所

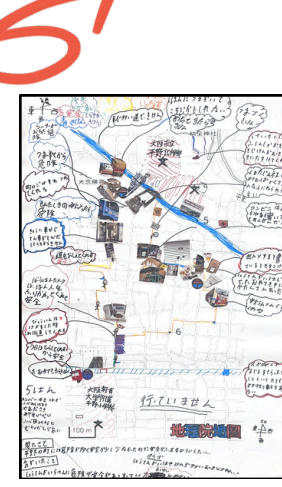
学校の中には危険や
安全があったけれど、
町の中にも『危険』や
『安全』があるのかな？



活動③

地域の危険安全マップ作成

『消火栓』って書いてある！
火事になった火を消してくれる
から、町を守る安全なものや



カーブミラーやこども110番
の家って、はじめて町にあ
るものじゃないよね。
誰かが安全になるように、
つけてくれたのかな？

ふりかえり

- いつも通っている道に、あぶない場所があることに初めて気がつきました。
- 学校の中で、階段の曲がり角や廊下のすみが、人とぶつかりやすくてあぶないと思いました。これからは学校の中で走らないで、気をつけて歩こうと思います。
- 町を探検したら『こども110番の家』の看板や、ガードレールをたくさん見つけました。わたしたちの町にはあぶないところもあるけど、わたしたちを守ってくれる安全なものもいっぱいあって安心しました。

平野あんしんタウン A領域

第1サイクル 課題設定

自分や地域の安全はどの様に守られているのだろうか？
～地域の安全を守る人から学ぶ 平時と有事～

活動 災害に関する動画を視聴



未来の平野の町は
安全なのかな？



風水害



火事

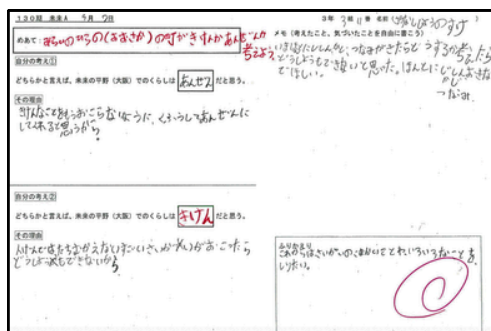
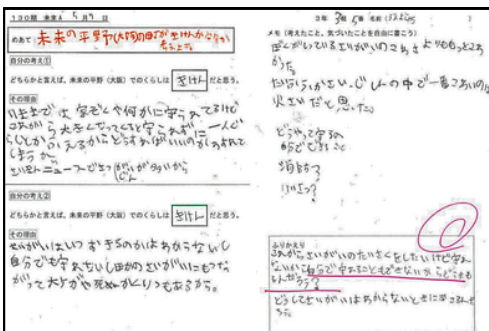


地震



やっぱり災害はいつ
来るか分からないね

だれかが守ってくれて
安全と思っていたけど
危険かも・・・



本当に
災害が来たら
どうなるのかな？



ふりかえり

- これまでは『だれかが助けてくれる』と思っていたけれど、それだけじゃダメなんだなと気づきました。
- 未来の安全を守るためには今から何かしないといけないんじゃないかと思いました。
- 災害の動画を見たら、未来の平野区はぜったい安全とはいえないなと心配になりました。
- 消防署や警察の人たちだけで平野区ぜんぶの安全を守りきれるのかな？

平野あんしんタウン A領域

第1サイクル 情報収集

自分や地域の安全はどの様に守られているのだろうか？
～地域の安全を守る人から学ぶ 平時と有事～

活動① 自助・共助・公助

自助は自分たちでできる
こと。防災バックには何
が必要なんだろう



共助はみんなでできるこ
と。助け合いも大事な
だね。



火事になった時とかに
来てくれる消防の人
たちがすることを公助
って言うんだな

『公助』だけいまち
ピンとこないな。本当
に地震や火事のとき
すぐ助けに来るの
かな？



活動② 安全を守る人たちに聞いてみよう

警察



区役所



消防



共助や公助につ
いてもっと
知りたいな

地域の安全を
守っている
人たちに話を
聞いてみたい
な

自衛隊



平時も有事も
それぞれの立場で
平野区の安全を
守るために活動
しているんだね

連合町会



活動③ 校外学習～あべのタスカル～

意外と難しい
訓練って大事
だな



煙で前が
ぜんぜん
見えない！



ふりかえり



- ・自助、共助、公助の3つのバランスが大事。
- ・有事のときは、周りの人と声をかけあう「共助」が大事だと知りました。ふだんから、元気にあいさつをして仲良くなっておきたいです。
- ・有事の時は、警察や消防の人、自衛隊の人が連携して助け合っていると聞いて、すごく安心しました。

平野あんしんタウン A領域

第1サイクル 整理分析

自分や地域の安全はどの様に守られているのだろうか？
～地域の安全を守る人から学ぶ 平時と有事～

活動 ネットワーク図の作成

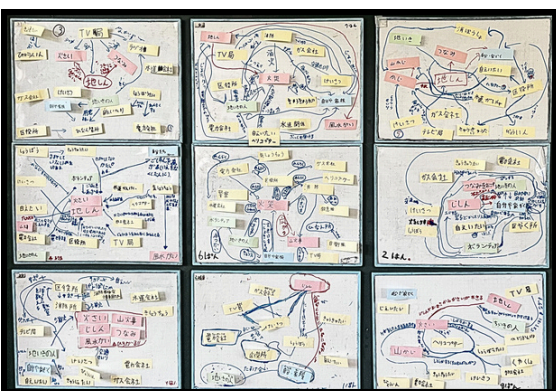
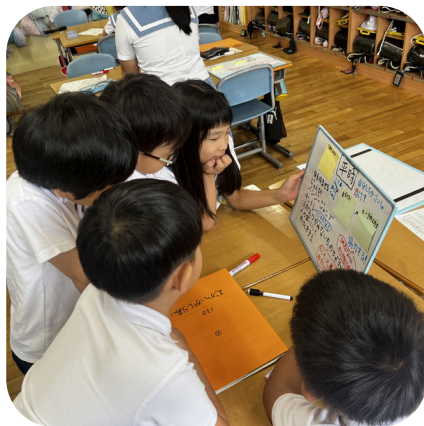


教えてもらった
繋がりを
ネットワーク図に
整理しよう

区役所の人の話をふくめて、つながりを図に整理しよう！
消防署

- 諸機関 (会社、団体、NPOなど)
- 危険なこと
- 地いきの人
- 自分や家族
- ～ 助け合い、連携
- ～ 危険なこと

有事になると
矢印が増える
のがなんか
すごいな。



平時ってよく
見たらパトロール
とか訓練とか
『準備の矢印』が
いっぱい！

キーワードは連携！
有事もそうだけど
日頃からの連携が
大事なんだね。



ふりかえり

- 安全ネットワーク図のいちばん矢印が多くなるのは、自分たち（自助）なんだなと気づきました。
- 区役所や自衛隊、町会長さんまでぜんぶの矢印がつながった『安全ネットワーク図』を見て、こんなにたくさんの人が協力して火事や事故を防いでくれているんだなと、あらためてびっくりしました。
- 公助がやりやすいように、私たちも地域で助け合う（共助）ネットワークを強くしておかないといけないなと思いました。

平野あんしんタウン A領域

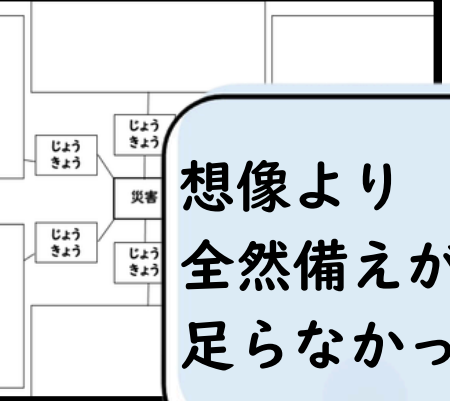
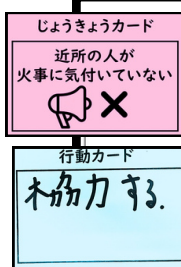
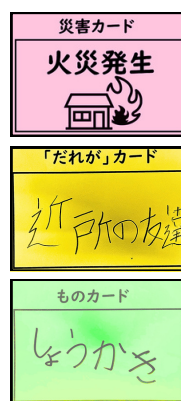
第1サイクル まとめ表現

自分や地域の安全はどの様に守られているのだろうか？
～地域の安全を守る人から学ぶ 平時と有事～

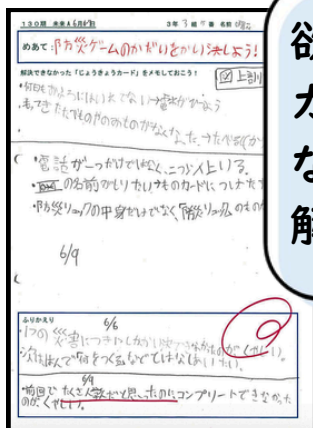
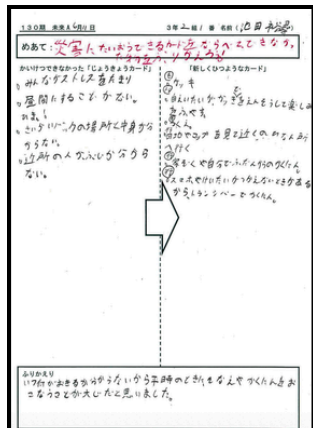
活動 ピンチをすくえ！災害シミュレーション



備えカードを作って
災害に対応できるか
試してみよう



想像より
全然備えが
足らなかった



欲しい
カードが
ないから
解決できへん

有事になってから
じゃなくて
平時からの備えが
大切なんだ



ふりかえり

- ・ゲームをやってみて、災害が起きてから『どうしよう』と話し合っても全然まにあわないことが分かりました。ふだん（平時）からだれが何をするか決めてネットワークを作っておくことが、一番大切だと思いました。
- ・警察や消防の人たちが『地域の人と協力することが一番大事』と言っていた意味が、ゲームでよく分かりました。
- ・これだけカードがあったら大丈夫だと思っていたけど、助け合いカードなど自分が思っていた以上に必要で、平時の備えが大切なんだと思いました。